

研究課題名	広島県内共通版トレーシングレポート運用における糖尿病チェックシートの有用性と課題の検討
研究期間	2026年4月15日～2030年3月31日
研究の対象	2024年2月13日～2026年3月31日の間に広島大学病院内分泌・糖尿病内科医師が服薬フォローアップの依頼を行った患者さん
研究の目的・方法	<p>研究の目的：近年、薬局にはお薬をお渡しするだけでなく、患者さんが安心して治療や日常生活を続けられるよう、継続的に支援する役割が求められています。当院では、糖尿病のお薬に関する患者さんの状況を、薬局から医師へ分かりやすく伝えるため、「糖尿病薬チェックシート」を活用した取り組みを行っています。本研究では、薬局から医療機関に送られる「トレーシングレポート」や診療録（カルテ）を用いて、この取り組みが服薬フォローアップにどのように役立っているか、また今後の課題について明らかにすることを目的としています。</p> <p>研究方法：カルテ情報とトレーシングレポートを用いて解析を行います。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢・性別・身長・体重・糖尿病の病型・処方薬（薬剤名、用法・用量を含む）・血糖値・HbA1c値・グリコアルブミン値、トレーシングレポートの返信状況、トレーシングレポートの内容（薬局でのフォローアップ内容、患者状況、提言内容） （個人を特定可能な情報は解析に用いません）。</p> <p>試料・情報の管理責任者：広島大学病院薬剤部 薬剤部長 松尾裕彰</p>
利用または提供を開始する予定日	2026年4月15日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学病院薬剤部 薬剤部長 松尾裕彰</p>
その他	なし
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。

なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。

また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。

広島大学病院 薬剤部

担当者：大東敏和

〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3

電話番号：082-257-5579